

令和4年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名 いきいきプラザ一番町	所在地 千代田区一番町12
-----------------------	----------------------

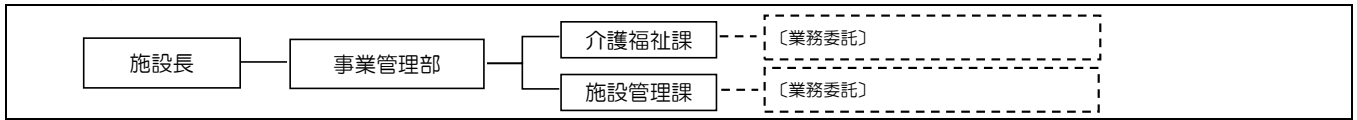
1 指定管理者の概要

名称 社会福祉法人 東京栄和会	代表者 理事長 鈴木 信男
所在地 東京都江戸川区西葛西八丁目1番1号	
指定期間 令和3年4月1日～令和5年3月31日	報告期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 指定管理の概要

施設の目的	介護を必要とする高齢者の能力に応じた自立生活の援助及び介護者等の負担軽減を図るとともに、区内に住み、働き、学び、集う広範な区民の総合的福祉活動を援助促進するほか、世代間交流とノーマライゼーション理念を実現し、もって区民福祉の向上に資する。
管理業務の内容	(1) 特別養護老人ホームの事業に関する業務 (2) 高齢者在宅サービスセンターの事業に関する業務 (3) 区民施設の事業に関する業務 (4) 施設・設備の保守及び維持管理に関すること

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア 特別養護老人ホーム事業

(f) 介護福祉施設サービスの提供

	定員	入退所者数		年度末在籍	平均介護度	平均年齢
		入所	退所			
令和4年度	82床	16人	17人	81人	4.0	88.2歳
令和3年度	82床	14人	14人	82人	3.9	87.7歳
令和2年度	82床	21人	20人	82人	3.7	87.6歳

(g) 短期入所生活介護サービス等の提供

	短期入所生活介護		介護予防短期入所生活介護		計			
	実施日数	利用者数	実施日数	利用者数	定員	実施日数	利用者数	利用率
令和4年度	365日	1,326人	365日	7人	8床	365日	1,333人	45.7%
令和3年度	365日	1,312人	365日	23人	8床	365日	1,335人	45.7%
令和2年度	365日	1,377人	365日	3人	8床	365日	1,380人	47.3%

イ 高齢者在宅サービスセンター事業

	通所介護		介護予防通所介護		計			
	実施日数	利用者数	実施日数	利用者数	定員(日)	実施日数	利用者数	利用率
令和4年度	298日	7,352人	298日	642人	35人	298日	7,994人	76.6%
令和3年度	309日	7,267人	309日	1,004人	35人	309日	8,271人	76.5%
令和2年度	308日	6,185人	308日	1,163人	35人	308日	7,348人	68.2%

	認知症対応型通所介護		介護予防認知症対応型通所介護		計			
	実施日数	利用者数	実施日数	利用者数	定員(日)	実施日数	利用者数	利用率
令和4年度	298日	2,011人	298日	0人	12人	298日	2,011人	56.2%
令和3年度	309日	1,382人	309日	0人	12人	309日	1,382人	37.3%
令和2年度	308日	1,253人	308日	0人	12人	308日	1,253人	33.9%

ウ 区民施設事業

(f) 福祉活動の推進・援助事業

	いきいきコンサート		介護者教室		イベント		その他
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	
令和4年度	12回	1225人	0回	0人	6回	660人	・地域福祉活動団体の活動支援 ・地域健康高齢者の健康推進支援
令和3年度	4回	373人	4回	46人	2回	117人	
令和2年度	0回	0人	6回	11人	0回	0人	

(イ) 区民施設の利用

	多目的ホール		会議室		区民ギャラリー		温水プール		
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用日数	個人利用 利用者数	団体利用 件数 利用者数	
令和4年度	297件	20,860人	120件	1,195人	0件	0日	21,816人	0件	0人
令和3年度	67件	4,567人	24件	240人	0件	0日	5,316人	0件	0人
令和2年度	23件	868人	0件	0人	0件	0日	0人	0件	0人

工 施設及び設備の保守及び維持管理（通年）

(7) 建物設備保守管理業務

(f) 施設清掃業務

(g) 警備業務 等

5 収支の状況

ア 特別養護老人ホーム事業

イ 高齢者在宅サービスセンター事業

【令和4年度】

		計	介護老人福祉施設	短期入所生活介護	高齢者在宅 サービスセンター
収入	介護福祉施設介護料収入	305,555,584円	305,555,584円		
	居宅介護料収入	75,134,050円		14,494,420円	60,639,630円
	地域密着型介護料収入	25,132,831円			25,132,831円
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	4,087,639円			4,087,639円
	利用者等利用料収入	76,444,018円	66,389,842円	2,990,016円	7,064,160円
	補助金収入	25,557,929円	24,675,027円	431,233円	451,669円
	その他の事業収入	0円	0円	0円	0円
	受託事業収益	0円			
	その他事業収益	0円			
	その他の収入	4,030,491円	3,979,011円	6,025円	45,455円
	経常経費寄附金収益	164,225円	164,225円		0円
	その他収益	74,720円	59,800円		14,920円
	サービス活動外収益	3,791,546円	3,754,986円	6,025円	30,535円
	合計(①)	515,942,542円	400,599,464円	17,921,694円	97,421,384円
支出	人件費支出	306,532,993円	224,092,540円	24,977,667円	57,462,786円
	事業費支出	75,010,807円	57,134,997円	3,828,484円	14,047,326円
	事務費支出	109,534,369円	66,603,326円	6,336,884円	36,594,159円
	事務費※ ¹	105,308,406円	63,187,638円	6,231,621円	35,889,147円
	利用者負担軽減額	0円	0円	0円	0円
	減価償却費	4,207,260円	3,397,980円	104,268円	705,012円
	徴収不能引当金繰入	995円	0円	995円	0円
	サービス活動外費用	17,708円	17,708円	0円	0円
合計(②)	491,078,169円	347,830,863円	35,143,035円	108,104,271円	
収支差額(①-②)	24,864,373円	52,768,601円	-17,221,341円	-10,682,887円	

※¹ 歯科ユニットリース料は、「事務費-賃借料」から支出している。

ウ 区民施設事業

【令和4年度】

		区民施設
収入	指定管理料（管理受託収入）	278,052,000円
	利用者等利用料収入	6,416,844円
	その他の事業収入	28,504,322円
	庁舎管理費収入	27,583,122円
	補助金事業収入	0円
	その他の活動収入	921,200円
	雑収入	8,735円
合計(①)	312,981,901円	
支出	人件費	26,522,186円
	運営費	4,014,453円
	事業費支出	1,585,133円
	その他の支出	91,696円
	施設整備等支出	2,337,624円
	その他の活動支出	
維持管理費（事務費支出）	292,036,642円	
合計(②)	322,573,281円	
収支差額(①-②)	-9,591,380円	

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>介護保険事業は、約4年に及びコロナ禍において、面会制限や感染対策を継続しながらも、各種クラブ活動・行事などの形態を変えることで、利用者サービスの向上に努めた。また終末ケアにも積極的に取り組んでおり、入所家族の同意に基づき、施設内看取り介護を10名に実施した。同時に胃ろう・人工肛門・酸素療法等、医療的な対応が必要な方の受入も積極的に行った。なお、日常生活の中にリハビリやアクティビティを取り入れた自立支援についても、今までの経験を基に高いサービス水準で維持継続した。</p> <p>通所事業は、コロナ禍の影響により独自の日曜デイ（認知症デイ：月2回）を中止としたが、他のサービス提供は順調に実施できた。コロナ禍による利用控えが少しずつ緩和され認知症対応型通所事業の稼働率が昨年度と比較すると18.9%改善された。</p> <p>介護事業共通項目として継続的に実施している高齢者の権利擁護や虐待防止の積極的な取り組みは、第三者評価機関からも評価されており、虐待防止委員会などの各種委員会の定例化と併せて、職員の倫理向上と介護サービスの質の向上に努めている。また、夜勤看護師の配置など介護保険施設において望まれる医療介護サービスが可能な体制を今後も維持し、利用者及びそのご家族に安心と安全のサービスを提供することが出来た。</p> <p>区民施設及び施設管理は、高齢者施設と合築ということもあり、コロナ感染予防のため、施設貸出中止及び利用制限を余儀なくされた。しかし、必要な感染対策を行うことで、利用制限をかけながらも、順次、利用を再開した。</p> <p>なお、令和4年度を以って当法人への指定管理は終了し、令和5年度以降は他法人による運営となる。</p>	<p>介護保険事業は、先の介護報酬改定に伴う多床室特養の減額改訂及び通所事業の減額改定があり、諸物価高騰とも連動して収支に大きな影響があった。また、コロナ禍という未曾有の社会環境のため、居宅事業（ショート・通所事業）は、稼働率が低下しており、大幅減収のマイナス収支となった。コロナ禍においても、イベントを開催するための工夫を職員同士で話し合うことで、職員のモチベーション維持及び介護サービスの質の維持向上と並行して、稼働率の改善及び新規利用者の獲得に努め、介護事業全体としては、収支をプラスとすることが出来た。</p> <p>区民施設及び施設管理は、コロナ禍における施設貸出中止及び利用制限により利用料収入は大幅に減少した。加えて光熱水費高騰の影響は避けられず、経費削減に注力したものの収支赤字となった。</p>

7 区による評価・業務改善要求

社会福祉法人東京栄和会の指定管理期間は、平成18年度の制度開始から17年度にわたり、区政に多大なる貢献をしていただいた。

また、いきいきプラザ一番町が地域に愛される施設になったのは、東京栄和会が積極的に地域との関わりを持ち、運営していただいたことによる賜物である。

指定管理期間最終年度においては、OJT形式で次期指定管理者に丁寧な引継ぎを行っていただき、大きな混乱もなく、次期指定管理者による指定管理業務を開始することができたと考えている。

8 今後の指定管理に区が期待すること

次期指定管理者には、介護保険サービスの提供及び安定的な運営に注力していただくと同時に、施設利用者への丁寧な対応や積極的に地域との関わりを持ち、利用者や地域に受け入れられるような運営を望んでいる。